



会員の皆様には、日ごろ埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

埼玉県連合教育研究会は、昭和39年発足以来、51年目を迎え、これまで、埼玉県教育の振興を図ることを目的に創造的・組織的に研究活動を推進しながら着実な成果を挙げてまいりました。

本研究会の発足以前は、県下の地域48団体、教科別など13団体、計61の研究団体が、それぞれ別個の活動をしていました。しかし、昭和34年ごろから連合体にまとめようという機運の高まりと国や県からの指導助言もあり各研究団体のご尽力により発会式が昭和39年1月18日、浦和市武蔵野荘で盛大に行われました。その席上で、本研究会は、教科等の研究、調査、研究成果と資料の作成刊行など、教職員の研修活動を促進するとともに、相互の連絡を緊密にして県教育の振興に総合力を発揮すること、そして、事務局を大宮市立東中学校内に置くことが決まりました。翌日19日の新聞には、「先生の研究会を一本化・県教育に総合力、助成金も増額へ」の見出しつとにも、本研究会の力強い進展への期待感が記事として掲載されていました。



埼玉県連合教育研究会会长
上亟 啓介

会員の皆様には、これまでの半世紀にわたる教育の振興の歩みと『連合』の意味について思いを馳せていただくとともに、下記「活動方針と重点・努力点」に基づく研究への取組を本年度もお願ひいたします。

平成27年度 活動方針と重点・努力点

<活動方針>

- 1 未来を切り拓く教育の創造を目指して、着実な教育研究活動を継続し、埼玉県公立小・中学校等の教育の充実と発展に努める。
- 2 学習指導要領と埼玉県及びさいたま市の教育行政施策を踏まえて、各教育研究団体の特性を生かし、真摯に教育研究活動をすすめ、「教育立県・埼玉」の実現に努める。
- 3 郷土埼玉を愛し、地域社会の発展や国際社会の進展に貢献する人間の育成を目指して、質の高い教育研究活動をすすめ、その実現に努める。

<重点・努力点>

- 1 確かな学力の向上を図るために、小・中学校9年間の連結性を踏まえた教育研究活動を一層推進する。
- 2 豊かな心と健やかな体を育て、たくましく生きる力をはぐくむ教育研究活動を一層推進する。
- 3 教員の資質の向上と専門職としての課題意識の高揚を図るため、組織的、継続的な教育研究活動を一層推進する。

各教育研究団体におかれましては、本年度も、研究目標や研究テーマに向けての自主的・創造的・組織的な日々の研究活動をより一層充実したものとしていただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。

目 次

• 会長あいさつ	1	• 平成27年度地域教育研究団体のあゆみ	7
• 平成27年度役員・評議員	2	• 事務局だより	11
• 平成27年度教科等研究団体の研究主題・研究内容	3	• 平成27年度 研究論文募集要領	12

平成27年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員

1. 本部役員

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	上原 啓介	さいたま・大宮東中	理事(算数数学)	山本 耕司	久喜・桜田小
副会長(南部)	講内 靖夫	上尾・上尾中	◎(保健体育)	小川 光昭	本庄・中央小
◎(北部)	久米 敦	本庄・児玉小	◎(鶴ヶ島)	鈴木 秀希	越谷・東中
◎(西部)	児玉 亮一	富士見・富士見台中	◎(小家庭科)	野口 紀子	滑川・福田小
◎(東部)	高野 治	幸手・幸手小	◎(生活総合)	大友みどり	越谷・大袋小
◎(さいたま)	島村 晓	さいたま・川通中			
事務局長	分須 正明	さいたま・大宮東中	監事	松村 文雄	八潮・潮止小
幹事	富田 敦	さいたま・大宮東中	◎	原川 実	ときがわ・明覚小
◎	越智 宏明	さいたま・大宮東中	◎	新井 研吾	寄居・鉢形小
◎	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中	編集委員長	眞嶋 廣久	さいたま・上木崎小
常任理事(南部)	川田 博史	川口・青木北小	編集委員	浅井 大貴	埼玉大学附属小
◎(南部)	鈴木有津子	草加・青柳小	◎	阿部 靖史	埼玉大学附属中
◎(北部)	福島 陽一	深谷・川本中	◎	吉井 一生	鴻巣・松原小
◎(北部)	清水 政晃	美里・東児玉小	◎	石川 和宏	桶川・桶川小
◎(北部)	倉澤 俊夫	秩父・南小	◎	小代美智子	さいたま・大東小
◎(西部)	福満 浩一	富士見・水谷小	◎	平山 昂	さいたま・城南中
◎(西部)	利根川勝美	吉見・南小	◎	大島 紗子	蕨・第一中
◎(東部)	増田 敬一	春日部・内牧小			
◎(東部)	小澤 詳吾	行田・太田中			
◎(さいたま)	矢部 一夫	さいたま・岸町小			

2. 教科等研究団体

No	研究団体名	会長名	所属
1	埼玉県国語教育研究会	中村 敏男	北本・東中
2	埼玉県書写教育研究会	岩渕 賢一	所沢・東所沢小
3	埼玉県社会科教育研究会	栗田 亨	さいたま・針ヶ谷小
4	埼玉県算数数学教育研究会	山本 耕司	久喜・桜田小
5	埼玉県理科教育研究会	山元誠一郎	さいたま・大宮北小
6	埼玉県音楽教育連盟	宇佐美美巳子	坂戸・若宮中
7	埼玉県美術教育連盟	矢嶋 廣明	熊谷・星宮小
8	埼玉県保健体育研究会	小川 光昭	本庄・中央小
9	埼玉県英語教育研究会	西 博美	熊谷・熊谷東中
10	埼玉県道徳教育研究会	廣瀬 仁郎	羽生・井泉小
11	埼玉県特別活動研究会	稻垣 孝章	小川・八和田小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	鈴木 秀希	越谷・東中
13	埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会	福田由美子	川口・仲町小
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	高橋 光代	川口・元郷小
15	埼玉県特別支援教育研究会	永妻 恒男	さいたま・大宮南中
16	埼玉県学校図書館協議会	木村 直美	朝霞・朝霞第九小
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	野口 浩	さいたま・与野東中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	野口 紀子	滑川・福田小
19	埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会	大友みどり	越谷・大袋小

3. 地域教育研究団体

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所属
南 部	1	埼玉大学教育学部附属小学校	有川 秀之	埼玉大学附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	杉原 達人	東松山・松山中
	2	埼玉大学教育学部附属中学校	首藤 敏元	埼玉大学附属中		31	小川班教育研究会	岡野 啓子	小川・竹沢小
	3	さいたま市教育研究会	藤村 尚彦	さいたま・三室中		32	菅谷班教育研究会	永島 宣幸	滑川・滑川中
	4	川口市教育研究会	川田 博史	川口・青木北小		33	玉川班教育研究会	原川 実	ときがわ・明覚小
	5	草加市教育研究会	鈴木有津子	草加・青柳小		34	川島教育研究会	五島アツ子	川島・三保谷小
	6	蕨市教育研究会	小澤 英敏	蕨・北小		35	吉見教育研究会	利根川勝美	吉見・南小
	7	戸田市教育研究会	長道 修	戸田・喜沢中		36	秩父教育研究会	倉澤 俊夫	秩父・南小
	8	志木市教育研究会	磯 真砂子	志木・志木小		37	児玉郡本庄市教育研究会	清水 政晃	美里・東児玉小
	9	朝霞市教育研究会	奥秋恵美子	朝霞・朝霞第二小		38	熊谷市教育研究会	加藤 彩	熊谷・奈良中
	10	新座市教育連合会	谷 真弓	新座・陣屋小		39	深谷市教育研究会	福島 陽一	深谷・川本中
	11	和光市教育研究会	西 貴美雄	和光・本町小		40	寄居町教育研究会	閑根 宏	寄居・寄居小
北 部	12	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	尾崎 啓子	埼大附属特別支援学校	北 埼	41	行田市教育研究会	小澤 詳吾	行田・太田中
	13	鴻巣市教育研究会	長谷川 洋	鴻巣・共和小		42	加須市教育研究会	荒木 文郎	加須・原道小
	14	北本市教育研究会	鶴間 和男	北本・西小		43	羽生市教育研究会	秋本 文子	羽生・新郷第一小
	15	上尾市教育研究会	森田 直樹	上尾・瓦葺中	埼 葛	44	春日部市教育研究会	吉田 弘子	春日部・藤塚小
	16	桶川市教育研究会	矢野 誠二	桶川・川田谷小		45	越谷市教育研究会	内田 文雄	越谷・出羽小
	17	伊奈町教育研究会	加藤 浩之	伊奈・小針中		46	久喜市教育研究会	中山 博志	久喜・青葉小
	18	川越市教育研究会	浅見 一広	川越・大塚小		47	三郷市教育研究会	会田 国雄	三郷・早稲田小
	19	所沢市教育研究会	泰間 孝雄	所沢・安松小		48	蓮田市教育研究会	賀山 敏正	蓮田・黒浜中
	20	飯能市教育研究会	梅澤 茂之	飯能・名栗小		49	幸手市教育研究会	高野 治	幸手・幸手小
	21	日高市教育研究会	中村 一夫	日高・高麗川小		50	八潮市教育研究会	宮本 達也	八潮・中川小
	22	狭山市教育研究会	山口 哲司	狭山・笛井小		51	杉戸町教育研究会	堀井 昭雅	杉戸・杉戸第三小
	23	入間市教育研究会	菅沼 幸雄	入間・野田中		52	吉川市教育研究会	黒沢 孝行	吉川・閑小
	24	富士見市教育研究会	菅野 誠一	富士見・勝瀬中		53	松伏町教育研究会	福田 寛之	松伏・松伏第二小
	25	ふじみ野市教育研究会	佐藤 栄一	ふじみ野・大井東中		54	白岡市教育研究会	五ヶ谷公一	白岡・南小
	26	坂戸市教育研究会	小峰 千春	坂戸・千代田小		55	宮代町教育研究会	白石 薫	宮代・東小
	27	鶴ヶ島市教育研究会	大木 剛	鶴ヶ島・富士見中	入間地区連合教育研究会		福満 浩一	富士見・水谷小	
	28	越生班教育研究会	皆川 好之	毛呂山・川角中	埼葛連合教育研究会		増田 敬一	春日部・内牧小	
	29	三芳町教育研究会	齋藤 光一	三芳・唐沢小					

※ 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】
 ※ 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】
 ※ 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※ 玉川班教育研究会【鶴ヶ島町・ときがわ町】
 ※ 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀬町】
 ※ 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

平成27年度

教科等研究団体の 研究主題・研究内容 《21団体》

1. 国語教育

埼玉県国語教育研究会

1 研究主題

「生活に生きてはたらく国語の能力の育成
をめざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の定着を図り、興味関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を充実させ、児童生徒の思考力・判断力・表現力を育てるとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

2. 書写教育

埼玉県書写教育研究会

1 研究主題

「児童生徒が生き生きと学ぶ書写授業の創造
～確かな書写力の育成を目指して～」

2 研究内容

日常に資する技能向上研修と実践的研究を行う。

- (1) 研究発表会・講演会（5月 研究成果の口頭発表）
- (2) 実技研修会（8月 教職員の技術向上）
- (3) 授業研究会（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）
- (5) 研究集録の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育

埼玉県社会科教育研究会

1 研究主題

(小) 「自ら社会とかかわる子どもを育てる社会科学習」
(中) 「学ぶ楽しさを味わい、わかる喜びを体感できる社会科学習」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨の具現化を図る実践的な研究を行う。

方法として、

- (1) 小中学校地域学習研修会
- (2) ブロック別授業研究会
- (3) 研究発表大会
- (4) 小学校社会科実践事例集
- (5) 社会的な思考力・判断力・表現力を問う問題集の作成を計画している。

そして、平成29年度中学校関プロ大会、平成30年度小学校全国大会の成功を目指して、研究を進めている。

4. 算数・数学教育

埼玉県算数数学教育研究会

1 研究主題

学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、指導内容の系統を明らかにし、算数（数学）的活動を重視した学習指導を展開する。

そのため、児童生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学のよさに気付かせ、それらを活用できるよう学習過程や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

5. 理科教育

埼玉県理科教育研究会

1 研究主題

「一人一人の児童生徒が目的意識をもち、
自然を主体的に探究する活動を行う授業の展開」

2 研究内容

目的意識や見通しをもった観察・実験を行い、自然を主体的に探究する活動を通して、「科学的な見方や考え方」を育成することのできる学習指導の研究及び実践を行う。

- (1) 自然を主体的に探究する活動を促す指導計画の工夫
- (2) 問題解決的な活動を重視した指導の工夫
- (3) 科学的な思考力・表現力を育成する指導の工夫
- (4) 児童生徒一人一人のよさや可能性を生かす評価
- (5) I C T 機器の効果的な活用法の開発

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「伝わる音楽」

～音楽を共有し、感性を豊かにする学びを通して～

2 研究内容

- (1) 音楽科における思考力・判断力・表現力を育む指導の充実
- (2) 表現領域と鑑賞領域の関連を図る指導の充実
- (3) 我が国の伝統的な音楽の指導の充実

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び

～子どもが輝く 生き生き授業～（2年次）

2 研究内容

- (1) きらめく感性 つくりだす喜び
子どもが主体となり、意欲的に自らの世界を豊かに開き、新たな自分をつくりだしていく姿を追求する。
- (2) 子どもが輝く 生き生き授業
感性を十分に働かせ、つくりだす喜びに溢れるような子どもの姿が実現する授業を目指し、研究する。

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

(小) 「運動の特性や魅力を味わわせ、体力と運動の技能を高める指導と評価の工夫」

「健康・安全に関する内容を実践的に理解させる保健学習の工夫」

(中) 「生徒一人一人を伸ばす保健体育指導の実践」

2 研究内容

- (小) 「跳び箱を使った運動遊び、跳び箱運動」「ボールゲーム、ネット型ゲーム、ネット型」「保健」
- (中) 「学習指導要領の趣旨を踏まえた評価の工夫」「武道の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」「健康で安全な生活を営むための実践力を育てる保健学習の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「児童・生徒一人一人が積極的に活動し、コミュニケーション能力を培う授業の創造」

2 研究内容

県内外の英語の学習指導や、外国語活動の実践研究を基にした研修の場を設定し、コミュニケーション能力の育成を目指した授業研究を充実させながら、英語教育に関わる教員としての資質・能力の向上を図りたい。

また、日頃の学習指導の成果を発表する場として、中学生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「自己への問いかけを深め、よりよい生き方を求める道徳教育」

～多様で効果的な指導方法の改善を目指して～

2 研究内容

- (1) 8月「夏季研修会」
例年の内容に、教科化に基づいた指導方法の改善を取り入れ、協議を深める。
今年度も、昭和女子大学大学院教授 押谷 由夫氏より御講話を戴く。
- (2) 11月「関東地区小学校道徳教育研究大会・埼玉大会」
鴻巣市立田間宮小学校を会場として実施する。
関東各地域より500名の参加を予定しており、教科化を視野に入れた授業実践と理論の両面から研鑽を深める。

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「共生社会の基盤をつくる特別活動」
～よりよい学校・学級文化を創造する
集団活動を通して～

2 研究内容

- 下記の重点を踏まえた理論と実践研究に取り組む。
- (1) 共生社会の基盤をつくる特別活動の指導計画の見直し・作成について
 - (2) 共生社会の基盤をつくる特別活動の指導と評価方法について

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「小・中学校におけるキャリア発達の段階に応じた
学級活動の充実・実践」

2 研究内容

小学校の実践例の分析を深め、中学校との関連をさらに研究し、小学生に身に付けさせたい基礎的・汎用的能力と活動内容との関連表を見直し、修正や改善をしていく。

「学級活動を核とした中学校キャリア教育」を活用した実践を通して、小・中をつなぐ視点を踏まえ、実践を検証してまとめていく。

また、副読本『中学生活と進路』の県版部分を学年ごとに作成・編集する。

13. 視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「自ら学び主体的に活動する力を育む
教育メディアの活用をめざして」
～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～

2 研究内容

本連盟にかかわる各地区の団体において具体的な研究を推進し、その研究成果の発表を実施して、視聴覚・情報教育教材教具の活用推進を図り児童生徒の学びを深める。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「再考 学ぶ喜びのもてる放送教育」

2 研究内容

本研究会では、各教科での学校放送番組の活用方法を研究する。視聴後の話し合い（子どもの発言）から子どもの学び方、放送番組の効果的な活用法を研究し、「学ぶ喜び」のもてる授業展開を追求する。

また、番組利用を含め様々なICT機器を活用した授業実践にも取り組む。

《埼玉県教育機器研究会》

1 研究主題

「児童生徒一人ひとりの心を大切にした教育機器の活用」

2 研究内容

本研究会にかかわる各地区の団体において具体的な研究を推進し、その研究成果の発表を実施して、教育機器・情報教育教材の活用推進を図る。

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童生徒等の指導支援
～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

2 研究内容

- (1) 通常の学級等において、発達障害を有する児童生徒をどう理解し、指導支援していくか、先行事例に学び、研究を深め、実践事例等を広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るために、各地区の事例や情報に基づいた研究を進める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「生きる力を育て、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方を求めて」

2 研究内容

- (1) 児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害等、学習や生活に特別な支援を必要とする児童生徒に対する指導の在り方を追究する。
- (3) 新しい時代の特別支援教育の課題に応じた教育について研究し、実践を進展させる。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造
(読書指導でびきの見直しと再編集)

2 研究内容

- (1) 研究

学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する管理運営・利用指導・読書指導・地域連携を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校の教育課程の展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。
- (2) 事業
 - ・集会 理事会、学校図書館研究大会、表彰式
 - ・協議 第1～3回研究協議会、第1～3回研究部会
 - ・研究 学校図書館授業研究会
(入間市立藤沢北小学校)

- ・表彰 読感文・読感画コンクール審査、表彰式
 - ・刊行 埼玉S L A会報78・79号、研究集録第53号
 - ・広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内
 - ・参加 関東地区学校図書館研究大会(発表等)参加
- (3) 調査

埼玉県学校図書館協議会沿革史CD-ROM化
(組織・総会資料・真珠、研究紀要等)

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「次代を担い、社会を生き抜く力を育む
学習指導の研究」

2 研究内容

平成28年度の関プロ埼玉大会に向け、教科の基本に立ち返り、技術・家庭科の目標に示されている「進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度」を身に付けさせることを目的とし、そのために学習指導の在り方について研究に取り組む。

各分野、内容毎に「生活を工夫し創造する能力と実践的な態度」にせまるために「働きかけ」と「評価の工夫」を中心に、指導計画及び授業を再検討・実践し、共通のイメージ図や学習課程表を作成し、県内、同一歩調で取り組んでいく。

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「自分の生活を見つめ、家庭生活をよりよくしようと工夫し、実践する児童の育成」
～食生活への関心を高め、環境に配慮した生活を工夫し、実践する力を育てる家庭科学習～

2 研究内容

- (1) 鴻巣市立吹上小学校において、第46回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会の開催
- (2) 夏季研修会において講演会の実施
- (3) 埼玉県小学校家庭科児童研究発表会の実施
- (4) 「会報35号」の編集と発行

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における思考力・判断力・表現力、総合的な学習の時間における思考力・判断力・表現力について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、思考力・判断力・表現力の現れについて考察するとともに、児童生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理したい。

生活科、総合的な学習の時間の授業場面を類型化して、それぞれの場面で求められる思考力・判断力・表現力やその評価についても整理し、思考力・判断力・表現力を高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「学びの本質」を育む授業の創造（最終年次）

2 研究内容

(1) 第83回小学校教育研究協議会

平成27年10月13日(火)、14日(水)に予定している。

研究の最終年次として、各教科、健康教育、おおとり（総合的な学習の時間）の授業公開、提案を行う。

(2) 校内授業研究会

個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議（質疑・グループ協議等）を行う。

21. 埼玉大学附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「社会を主体的に生き抜くことができる生徒の育成」

2 研究内容

本研究では、本校の目指す生徒像「主体的・能動的に学びに向かう生徒」の育成に向けて、育成すべき資質・能力、各教科で身に付けさせたい資質・能力を設定し、『課題提示（問い合わせ）』と『振り返り』の工夫を手立てとして、実践研究を行った。

平成27年度

地域教育研究団体の あゆみ

《15団体／55団体》

1. 戸田市教育研究会

会長 長道 修

本市研究会は、小学校12校、中学校6校に在籍する538名の会員によって組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会では、日頃の教育活動の充実を図るとともに、教職員の資質・指導力の向上及び教育課題を解決することを目的としている。

2 主な事業

(1) 教科等研究部会

(2) 各教科等研究部会の活動

- ① 授業研究会 ② 資質向上研修会
- ③ 実技研修会 ④ 児童生徒作品展覧会
- ⑤ 児童生徒科学展覧会 ⑥ 小学校音楽鑑賞会
- ⑦ 小・中学校音楽会 ⑧ 発明創意くふう展
- ⑨ 講演会 ⑩ その他本会の目的達成に必要な行事

3 今後の課題

学習指導要領に基づく教育を遂行し、児童生徒の生きる力を育むため、とりわけ、ICTを積極的に活用した協働的な学びを推進し、児童生徒の教育的ニーズに応じた指導により「楽しく、わかり、のばす授業」を充実させる。

2. 和光市教育研究会

会長 西 貴美雄

和光市教育研究会は、昭和57年秋に再発足し、現在に至っている。会員は、市内各小・中学校教職員の287名の自主的な参加で、15の研究部により構成されている。

1 研究活動の理念（研究の重点）

『子どもから出発し、子どもに還る教育研究』という理念のもと、毎年活発な研究活動を展開している。

2 主な活動と事業

(1) 各研究部による研修・研究

各研究部が、理念をもとに研究主題を設定し、研修会・授業研究会・実技研修会を実施する。

(2) 総会・一斉研究会 5月8日(金)

(3) 教育講演会 8月26日(水)

演題 「体脂肪計タニタの社員食堂健康セミナー」

-500Kcalまんぶく定食のコツ-

講師 タニタヘルスリンク 管理栄養士

井銅 樹里 氏

(4) 一斉授業研究会 11月20日(金)

(5) 実践報告会・一斉研究会 2月5日(金)

発表 図工・美術研究部 学校保健研究部

(6) 広報誌「わこうの教育」の発行

「研究紀要（第50集）」の作成

広報誌に各研究部の日常的な活動の報告を掲載し、全体会の1年間の記録と各研究部の成果と課題を研究紀要にまとめている。

3. 上尾市教育研究会

会長 森田 直樹

本研究会は、上尾市内小学校22校、中学校11校の教職員960名を会員とした23研究部会で組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、会員相互の研修により資質の向上を図り、もって上尾市立小・中学校の教育の充実に資することを目的としている。

2 主な事業

(1) 定期総会及び教育実践発表会 5月27日(木)

(2) 運営委員・研究部長合同会議 年6回

(3) 教育講演会 8月20日(木)

演題「東京ディズニーリゾート・サービス

の基本理念」

講師 株式会社オリエンタルランド

団体マーケティング部教育体験推進担当

徳田 祐一郎 氏

(4) 研究発表会及び記念講演会

平成28年1月7日(木)

(5) 各研究部会の活動

授業研究会・実技研修会・施設体験研修会等開催

(6) 研究集録の作成

各研究部の1年間の活動概要、成果及び課題をまとめた研究集録を発刊する。

4. 川越市教育研究会

会長 浅見 一広

本研究会は、川越市内小学校32校、中学校22校、特別支援学校1校の教職員1,362名の会員で構成されている研究団体である。本部役員会と25部の研究部会で組織されている。本年度で65年目を迎えた。

1 本研究会の目的

教育の振興と職能の向上を図ること

2 主な事業

- (1) 4月 一斉主任会
- (2) 5月 評議委員会
- (3) 6月 本部役員研修会 年間5回
- (4) 8月 教育講演会

会場 ウエスター川越

演題 「いのちのバトン～父 相田みつをを語る」

講師 相田みつを美術館館長 相田 一人 氏

(5) 各研究部会の活動

- ① 教育に関する研究調査
- ② 小・中学校特別支援学校児童生徒の文化活動研究
- ③ 講演会、講習会、研究協議会、体育会等の開催
- ④ 研究視察等

(6) 研究協議会

11月 2会場にて研究成果の発表と協議会

(7) 会報発行**5. 坂戸市教育研究会**

会長 小峰 千春

本研究会は、坂戸市内小学校13校、中学校7校、計20校(内、小中一貫校1校)に在職する教職員489名を会員として組織されている教育研究団体である。

【※ 平成27年度より、城山小、城山中は、
小中一貫校「城山学園」として開設】

1 本研究会の目的

本会は、会員の職能を向上し、教育の振興を図ることを目的とする。

2 事業の内容

- (1) 教育に関する研究及び調査
- (2) 講演会、講習会、研修会等の開催
- (3) 各種教育研究団体との連絡・連携 他

3 主な事業

- (1) 一斉主任会 4月
- (2) 定期総会 5月
- (3) 理事研修会 年2回
- (4) 部長研修会 年2回
- (5) 紀要「あゆみ」編集委員会 年3回
- (6) 市内一斉研究会 11月
- (7) 各研究部活動

6. 三芳町教育研究会

会長 斎藤 光一

本研究会は、三芳町内小学校5校、中学校3校の教職員185名の会員により、29の教科等研究部会から組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本会は、会員の資質の向上と親睦をはかり、三芳町教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 定期総会 5月7日(木)
- (2) 理事会 年3回
- (3) 教育講演会 8月20日(木)

演題 「発達障害のある子の理解と支援」

講師 埼玉県特別支援教育推進専門員

山下 浩 氏

(4) 各教科等研究部会

部会ごとに、主任研修会、授業研究会、発明創意くふう展、音楽会、美術展、書きぞめ展等を開催している。

(5) 各種教育団体との連携**7. 小川班教育研究会**

会長 岡野 啓子

本研究会は、小川町内小学校6校、中学校3校、東秩父村内小学校1校、中学校1校の教職員187名を会員として組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、小川町・東秩父村小・中学校教育の進展を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 総会及び研修会(講演会) 5月14日(木)
演題 「温故知新・・・私たちの働くまち・・・」
講師 小川町教育委員会教育長 小林 和夫 氏
- (2) 全員研修会(講演会)
演題 「戦国時代の大河原谷
～松山城主上田氏の本領～」
講師 元埼玉県立歴史資料館長

梅沢 太久夫 氏

(3) 各教科主任研究協議会・理事部長会**(4) 各研究部会の活動 (34部会)**

- ① 授業研究会
- ② 実技講習会
- ③ 研究部研修会
- ④ 小中学校音楽会
- ⑤ 理科教育研究発表会
- ⑥ 特別支援学級交流会
- ⑦ その他

研究部毎に教育の質の向上に努力している。

8. 菅谷班教育研究会

会長 永島 宣幸

本研究会は、滑川町・嵐山町の小学校6校、中学校

3校の教職員202名を会員として組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、班内の教職員が主体となって、職能の向上、教育の振興を図り、地域社会の文化発展に貢献することを目的としている。

2 主な事業

- (1) 教科等主任研修会・新旧理事会兼総会 4月
- (2) 各研究部会 5月～
 - ① 授業研究会
 - ② 児童生徒作品展等
 - ③ 読書感想文審査会
 - ④ 特別支援学級合同遠足
 - ⑤ 菅谷班小・中学校音楽会 等
- (3) 教育講演会（全員研修会） 8月

演題 「小中学校における【学び】の再考」
～これからの授業観・指導観・教材観～

講師 埼玉県教育局市町村支援部長
安原 輝彦 氏
- (4) 理事研修会 2月
- (5) 会計監査 3月

9. 秩父教育研究会

会長 倉澤俊夫

本研究会は、秩父郡市の小学校23校、中学校15校の会員数690名、29の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、本会教職員の資質の向上を図り、地域教育の振興に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 理事研修会 4月14日(火)

(含：選挙管理委員会)
7月7日(火)・平成28年2月5日(金)
- (2) 総会 5月14日(木)

代議員による総会・組織づくり
- (3) 各研究部の活動 5月～平成28年2月

各研究部主体による研修会・授業研究会の実施
- (4) 教育講演会 8月5日(水)

会場 横瀬町民会館
演題 「ディズニーとキッザニアに学ぶ、
子どもがやる気になる育て方」
講師 元東京ディズニーリゾート運営部長
安孫子 薫 氏

10. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 清水政晃

本研究会は、児玉郡本庄市内の公立小・中学校32校

の教職員706名、31研究会で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、児玉郡本庄市内における教育研究会の活動を通して、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 新旧本部役員研修会 4月7日(火) 4月23日(木)
- (2) 組織づくり 4月14日(火) 4月15日(水)
- (3) 総会・理事研修会 5月13日(水)
- (4) 部長会議 7月8日(水)
- (5) 本部役員研修会 12月3日(木) 1月26日(火)
- (6) 各研究会の活動

年度当初、各研究会において研究主題を設定し、
授業研究会、実技研修会等を実施している。
また、希望により講演会を実施している。
(本年度、10研究会)
- (7) 研修集録の作成

各研究会の1年間の活動概要、成果及び課題をまとめた研究集録を発刊し、各研究会の成果を広めている。

11. 深谷市教育研究会

会長 福島陽一

本研究会は、深谷市内の小学校19校、中学校10校の教職員713名の会員で組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、「学校教育各般の研究を行い、深谷市教育振興を図る」を目的とする。

2 主な事業

- (1) 評議員会・教育研究会主任会 4月
- (2) 教育研究会総会・評議員部長合同会議 5月
- (3) 教育講演会 8月5日(水)

演題 「ゴルゴ塾 命の授業」
講師 ゴルゴ松本 氏（深谷市親善大使）
- (4) 合同授業研究会 11月20日(金)
- (5) 評議員部長合同会議 2月
- (6) 会計監査 3月
- (7) 各研究部会の活動
 - ① 深谷市科学展
 - ② 夢きらきらアート展
 - ③ 小学校親善運動会
 - ④ 小・中音楽会
 - ⑤ 深谷市書きぞめ展
 - ⑥ 生徒協議会
 - ⑦ 小学校親善球技大会
 - ⑧ 合同学習会(特別支援)

12. 行田市教育研究会

会長 小 澤 詳 吾

本研究会は、行田市内小学校16校、中学校8校の教職員456名を会員として組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、昭和39年に組織され、各種教育研究活動を促進するとともに、相互の連絡を密にし、行田市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 各研究部組織づくり 4月14日(火)・15日(水)
- (2) 理事研究協議会・部長研究協議会 4月28日(火)
- (3) 各研究部の活動 5月～平成28年2月
各研究部主体による講演会・実技研修会・現地研修会等の実施
- (4) 教育研修大会 7月29日(水)
行田市教育文化センターみらい
講演会
演題 「これからの道徳教育の展望」
講師 文部科学省初等中等教育局教育課程
教科調査官 赤堀 博行 氏

13. 久喜市教育研究会

会長 中 山 博 志

本研究会は、久喜市内の小学校23校、中学校11校の教職員736名を会員とし、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、教職員の職能向上と教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 学校教育に関する研究及び調整
- (2) 講演会、研究会及び会員の研修に関する事業
- (3) 児童生徒の文化的・体育的行事等の開催
- (4) 他教育団体との連絡調整

3 事業内容

- (1) 全員研究協議会 4月
- (2) 教育研究会総会及び講演会 5月
- (3) 理事・部長研究協議会 5月・2月
- (4) 部長研究協議会 7月・12月
- (5) 主催事業 11事業 (通年)
(陸上大会・音楽会・科学展・美術展など)
- (6) 各教科等事業 44事業 (通年)
(各教科の授業研究会・研究協議会など)

14. 幸手市教育研究会

会長 高 野 治

本研究会は、幸手市内の小学校9校、中学校3校の

教職員240名、29の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、市内小・中学校教職員の連携を密にするとともに、会員相互の研究活動を盛んにし、市教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 新役員理事会 4月9日(木)
- (2) 新旧本部役員会・専門部会 4月10日(金)
- (3) 総会・教育講演会 市北公民館 4月30日(木)
演題 「今日の教育課題について」
講師 共栄大学教育学部教授 濱 本 一 氏
- (4) 市内文化財めぐり 8月4日(火)
- (5) 委嘱研究発表会 11月6日(金)
- (6) 各研究部の研修会、授業研究会、実技研修会
- (7) 市内硬筆展 6月
- (8) 市内科学展 9月
- (9) 市内音楽会 11月
- (10) 市内書きぞめ展 1月
- (11) 特別支援学級合同学習会 11月 交歓会 2月
- (12) 教育調査研究 7月～2月 報告 3月
- (13) 研究集録の作成 1月～2月 出版 3月

15. 杉戸町教育研究会

会長 堀 井 昭 雅

本研究会は、杉戸町内小学校6校、中学校3校の教職員208名を会員として組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本研究会は、関係機関、団体との緊密な連携のもとに、会員相互の連携を深め、教職員の資質の向上と人間性豊かな児童生徒の育成に努め、杉戸町教育の充実を図ることを目的としている。

2 主な事業

- (1) 総会及び研究発表 5月12日(火)
- (2) 常任理事会 6月、11月、2月
- (3) 理事・部長会 4月、7月、3月
- (4) 講演会 8月25日(火)
演題 「凡事徹底」
講師 公益財団法人 全国公民館連合会長
石川 正夫 氏
- (5) 各部・教科等研究部の活動
 - ① 研究集録作成
 - ② 研究委嘱
 - ③ 授業研究会及び研究協議会
 - ④ 小学校陸上競技大会、硬筆展、科学展、音楽会、美術展、書きぞめ展等の開催

事務局だより

平成27年度 本部事業計画

平成27年

- 4月1日(水) 各教育研究団体の役員名簿提出依頼
 5月19日(火) 平成26年度本部会計監査会
 6月10日(水) 第1回正副会長会
 ・常任理事・理事研究協議会
 ・評議員会(総会)・全体研究協議会
 ・平成26年度教育研究論文入賞者表彰式
 ・講演会
 ・講師 幸手市教育委員会
 教育長 山西 実 氏

- 7月3日(金) 教科等研究団体長・事務局長会議
 7月24日(金) 第2回正副会長会
 10月14日(水) 会報68号発行及び配布
 10月16日(金) 活動方針作成委員会
 11月27日(金) 関東地区小中学校教育研究会連絡協議会
 ・神奈川大会

- 11月27日(金) 研究論文募集締め切り
 12月11日(金) 第1回編集委員会

平成28年

- 1月27日(水) 第2回編集委員会
 2月10日(水) 第3回正副会長会
 2月22日(月) 平成27年度教育研究団体活動報告書提出
 ・(日本教育公務員弘済会)
 3月2日(水) 教科等教育研究団体会計監査会
 3日(木) 教科等教育研究団体会計監査会
 4日(金) 教科等教育研究団体会計監査会
 3月11日(金) 平成27年度研究集録・研究論文集発行及び配布
 3月22日(火) 平成27年度教育研究団体活動報告書提出
 ・(埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会)

全国・関東地区教育研究大会後援

- 全国教育研究発表大会後援
 - ・平成27年度は、該当なし
- 関東地区教育研究発表大会後援
 - ・第58回全関東地区中学校国語教育研究協議会
 平成27年10月22日(木)・23日(金)
 北本市立北本中学校、北本市文化センター
 - ・第49回関東地区小学校道徳教育研究大会
 平成27年11月13日(金) 鴻巣市立田間宮小学校

平成27年度研究集録の執筆担当地域教育団体

本会は毎年3月に、『研究集録 付 研究論文集』を発行し、県内全小中学校等へ配布しております。

研究集録の原稿執筆では教科等研究会及び地域教育研究会のご協力をいただいております。

教科等研究会は毎年研究集録の執筆をしていただいております。

地域教育研究会は4年に1回執筆をしていただいておりますが、旧教育事務所の秩父、児玉、大里、北埼は市町村合併により変則的に原稿執筆を依頼しております。

27年度は下記の15地域教育研究会に原稿執筆をしていただきます。皆様には、所属の研究会はもちろんですが、他の研究会の研究および活動内容についても是非ご覧になってください。

蕨市教育研究会	秩父教育研究会
朝霞市教育研究会	児玉郡本庄市教育研究会
鴻巣市教育研究会	熊谷市教育研究会
北本市教育研究会	加須市教育研究会
狭山市教育研究会	越谷市教育研究会
入間市教育研究会	三郷市教育研究会
鶴ヶ島市教育研究会	蓮田市教育研究会
吉見教育研究会	

被表彰

平成27年度「身体障害者福祉のための第57回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会長賞を、次の方が受賞されました。

おめでとうございます。

- 桶川市立桶川西小学校 第1学年

岩崎 穏空さん

作品名 『だちょうのぼうけん』

- 秩父市立秩父第一中学校 第2学年

清野 葉さん

作品名 『中央階段』

平成27年度 研究論文募集要領

埼玉県連合教育研究会

平成27年度研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記

1 目的

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格

県内の公立小・中学校に勤務する教員の個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、常用漢字・現代仮名遣いにするとともに、別に表紙を付け、表紙に①題名、②氏名（グループ代表者名）、③職名、④勤務校を記入してください。

5 応募上の留意点

研究論文は、紙上未発表のものにかぎります。

応募原稿は、返却しませんので、あらかじめご了承ください。

6 応募票

希望者には、応募票を電子メールで送付しますので事務局へ電子メールでお申し出ください。

7 原稿等の提出

平成27年11月27日（金）必着

応募票及び論文原稿の提出については、電子メールでの送付も併せてお願いします。

8 審査結果

審査結果は、平成28年2月上旬に各応募者に書面にて通知します。

9 表彰等

最優秀賞・入選・佳作等に選ばれた研究論文は、平成27年度研究集録に集録し、入選者は本会評議員会（総会）後の席上で表彰を行います。なお、研究資料費として入選論文には5万円（最優秀賞は7万円）、佳作論文には3万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

また、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（1万円）を設けています。

10 審査員

本部役員および編集委員

11 提出・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99 さいたま市立大宮東中学校内

埼玉県連合教育研究会事務局

TEL 048-641-0808 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

平成26年度 研究論文入賞者	
<入選>	
1 小中一貫教育の取組	～小中一貫教育校の開校を目指して～ 代表 城山学園坂戸市立城山小学校 城山中学校 菊地 昭男 校長
2 「不十分な科学概念の再構成を促す教授学習モデルの適用」 ～第4学年「電気のはたらき」における電流概念を例にして～	羽生市立須影小学校 柿沼 宏充 教諭
3 学校信頼を高める保護者会の工夫	～保護者集団構造分析モデル（P-T R U S T）を活用して～ さいたま市立栄和小学校 一色 翼 教諭
<佳作>	
1 すべての児童が技能を高められるゴール型の授業	上尾市立今泉小学校 石坂 晋之介 教諭
2 自分の命は自分で守ることのできる子どもの育成を目指して	～本番を想定した様々な避難訓練と、防災巻を活用した防災授業の改革～ 代表 越谷市立東越谷小学校 田畠 栄一 校長
<新人奨励賞>	
1 児童が主体的に取り組む問題解決的な学習の展開	～学習問題作り、学習計画の場面を中心に～ 日高市立高麗川小学校 有山 和宏 教諭